

# Sprinkler オプション 設定マニュアル

## [Approach DAM]



Copyright ( C ) NI Consulting Co., Ltd. All rights reserved.

## 目次

Sprinkler（スプリンクラー）オプションとは.....	2
配信概要.....	4
利用準備.....	5
1. 配信元認証.....	6
1-1. 配信ドメインの認証.....	7
1-2. トラッキング設定.....	10
2. 共用メールアドレスの登録.....	12
その他.....	13

## Sprinkler（スプリンクラー）オプションとは

Sprinkler オプションは Twilio Inc.が提供するメール配信サービス（Twilio SendGrid、以下 SendGrid）を利用し、メール配信する Approach DAM のオプション機能です。

SendGrid の強力なインフラとメール配信における便利な機能を提供します。

Approach DAM でメール配信するには 2 つの方法があります。それぞれの特徴を加味してご検討ください。

（Sprinkler オプションとメール DM 専用サーバー、両者を並行運用することも可能です。）

項目	Sprinkler オプション	メール DM 専用サーバー
利用契約の有無	Sprinkler オプション契約が必要 1 ライセンス 6,800 円(50,000 通 / 月) 10 万通/月の場合は 2 ライセンス必要。	Approach DAM の標準機能
メール DM 用サーバー構築	サーバー構築は不要	メール DM サーバー用端末の構築とソフトウェアのインストールが必要
利用準備	配信元の認証設定が必要 セキュリティ対策が標準搭載 (DNS 設定)	メール DM サーバーとの連携設定が必要
配信元(from) 貴社保有のメールアドレス	配信元認証で認証された 送信専用のメールアドレス	メール送信 (SMTP) 設定したメールアドレス
配信元(from) 無料のメールアドレス	貴社が保有しているドメインのみ @gmail.com などは利用不可	メール送信 (SMTP) 設定したメールアドレス
実際のメール配信サーバー	SendGrid ※Web API を中継して送信	貴社が利用中のメールサーバー (レンタル or 自社構築) ※メール DM サーバーを中継して送信
時間あたりの配信数	制限なし 同一時刻に 2 万通の配信も可能。 SendGrid の強力なインフラを利用。	利用するメールサーバー次第 レンタルサーバーの場合、1 時間 1,000 通など、一定以上送信すると送信制限にかかり配信停止される可能性があります。 環境ごとに配信間隔を調整する必要があります。 最小の配信間隔：500 通 / 10 分
セキュリティ対策	なりすまし対策が標準で設定されます。 (SPF、DKIM)	独自で設定する必要があります。
トラッキング機能	開封やクリックのトラッキングが可能。	利用できません。
無効アドレスの 自動フィルタリング	自動でフィルタ登録されます。 リストクリーニング機能あり。	手動で登録する必要があります。

## 【通数の計算】

- ・ 利用契約により月ごとに配信できる通数に上限があります。(1 ライセンス 50,000 通 / 月)
- ・ 月の通数上限に達するとメール配信できなくなります。
- ・ 通数の計算方法は SendGrid の基準に従います。
  - メールを送信予約が確定時点で通数に計算されます。  
配信待機（承認された配信で配信時刻まで 6 時間を切ると遷移）状態での取消は通数にカウントされません。
  - テストメールや自動返信でのメール送信も通数にカウントされます。
- ・ 通数の回復は日本時間の毎月 1 日の 15 時～16 時頃行われます。（反映が遅延する場合があります。）

## 【配信元のメールアドレス】

- ・ Sprinkler オプションからの配信は送信専用です。  
貴社のメールアドレスでメールを送信することができます。
- ・ 配信元に既存のメールアドレスを指定した場合、Approach DAM からの配信は Sprinkler オプションから行います。  
返信されたメールなどの受信はご利用中の受信 BOX に届きます。（推奨）
- ・ 配信元に存在しないメールアドレスを指定した場合、送信専用アドレスとなりメール受信はできません。  
返信されたメールはエラーとなるため、配信時に返信先を指定する運用を行ってください。

## 【トラッキング機能】

- ・ メールのトラッキング（開封とクリック）が利用可能です。
- ・ トラッキングを有効にすると、メール文中の URL が自動的にトラッキング URL に置き換えられます。
- ・ 開封やクリックをトラッキングする URL は初期状態では sendgrid.net のドメインとなります。  
システム設定にてトラッキング設定をすることで貴社のドメインにすることも可能です。
- ・ 開封は HTML 形式のメールとして開かれた場合に有効です。  
(メールを受け取る側がテキスト形式や画像の表示をオフにした場合はトラッキングされません。)

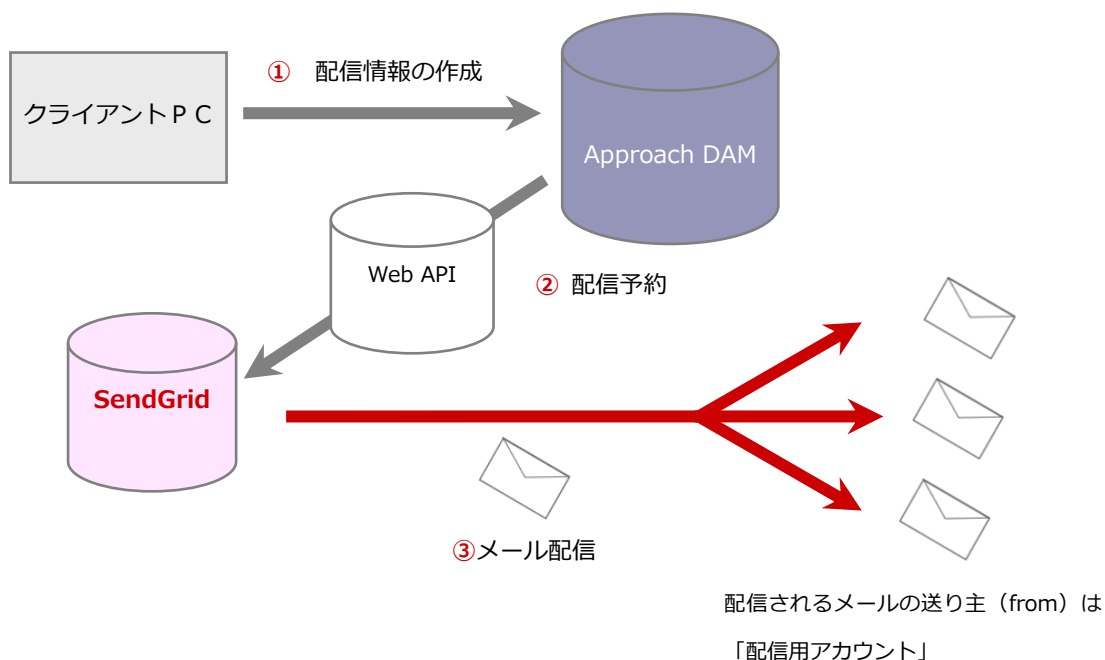
## 【配信元の認証】

- ・ 初期設定にて認証を行えば、配信が利用できるようになります。
- ・ ドメイン（メールアドレスの@より右側）を管理しているシステム（DNS）へのレコード登録が必要です。
- ・ ごく一部の DNS サービスで、CNAME レコードのホスト名に \_ (アンダースコア)が利用できない場合があります。  
貴社が利用する DNS サービスが上記に該当する場合、詳細設定のトラッキング URL のドメイン名変更が設定できない点  
ご注意ください。（配信やトラッキングや他の機能は問題なく利用できます）

## 配信概要

Sprinkler オプションを利用してメール配信する場合、メール配信の流れは以下の通りです。

### 【メール配信】



メール配信の流れ	
①	配信情報を作成します。
②	作成した配信情報は Web API を介してメール配信処理が実行され、SendGrid が提供するサーバーがこれを受理することで配信予約が行われます。
③	配信時刻になると、SendGrid が提供するサーバーが配信を実行します。

## 利用準備

メール配信機能を利用するにあたり、以下の点を設定する必要があります。

### 1. 配信元認証を設定

配信元(from)を認証します。  
迷惑メール扱いされないよう、セキュリティを高めるために必要です。



### 2. 共用メールアドレスを登録

配信用のメールアドレスを登録します。

## 1. 配信元認証

メール配信元として貴社のドメイン（メールアドレスの@より右側の部分）を指定し、認証を行います。配信元認証を行うことで、なりすまし対策（SPF/DKIM）がされたメールを配信することができます。認証にはメールアドレスのドメインを管理するシステム（以下 DNS）にレコード登録が必要となります。

設定項目	説明
配信ドメイン	<p>メール配信元として認証するために必須の設定です。</p> <p>貴社が保有するドメインを登録してください。</p> <p>登録は 1 ステップで、DNS レコードの登録と認証が必要になります。</p> <p>設定しない場合、メール配信ができません。</p>
トラッキング設定	<p>トラッキングを利用した際のトラッキング URL を貴社ドメインにする設定です。</p> <p>送信するメールアドレスのドメインと同じにすることでメール到達率が高まります。</p> <p>登録は 3 ステップあり、DNS レコードの登録と認証が 3 回必要になります。</p> <p>設定しない場合でもトラッキングできますが、トラッキング URL は sendgrid.net のドメインで作成されます。</p>

配信元認証はドメイン（メールアドレスの@の右側）を管理しているシステム（DNS）へのレコード登録が必要です。

- ドメインは各社の管理方法によって異なります。  
レコードの登録方法はシステム管理者（管理業者）へお問い合わせください。  
ご利用中の DNS へのレコード登録方法は弊社のサポート範囲外になります。
- 登録内容は以下のように値をコピーできるようになっています。  
DNS の登録形式に合わせて表示されている値をご登録ください。



Point

Sprinkler 配信元認証設定

**配信ドメイン**

- 配信用のドメイン（メールアドレスの@より右側の部分）を指定します。
- 自社で保有するドメインを指定してください。
- 認証されたドメインでメール配信ができます。

配信ドメイン:

状態	TYPE	HOST	VALUE
未認証	CNAME	...co.jp	copy ...sendgrid.net
未認証	CNAME	...co.jp	...sendgrid.net
未認証	CNAME	...co.jp	...sendgrid.net

未認証のレコードをDNSへ登録してから認証してください。

**入力**

ホスト名	TYPE	TTL	VALUE	優先	状態	追加
<input type="text" value="...co.jp"/>	CNAME	3600	<input type="text"/>		有効	<input type="button" value="追加"/>

例) DNS のレコード設定  
値をコピーして登録

※DNS へレコードを登録後に配信元認証画面の認証ボタンを押して認証します。

※レコードの反映はご利用の DNS により時間がかかる場合があります。

認証できない場合は時間を置いて再度認証してみてください。

## 1-1.配信ドメインの認証

配信元のメールアドレスとして「maildm@xxxxx.co.jp」を設定する場合を前提に説明します。

1. システム設定の **Sales Force Assistant** より「メール」の「メールDMサーバー」を選択します。  
⇒「メール/メールDMサーバー」画面が表示されます。
2. 配信サーバー「Sprinkler」の[配信元認証] ボタンをクリックします。

Sales Force Assistant 顧客深耕R > メール/メールDMサーバー		
1		
連携状態	配信サーバー名	稼働状態
連携中	Sprinkler <b>配信元認証</b>	稼働中

※Sprinkler オプションがインストールされていると表示されます。

3. [新規登録] ボタンをクリックします。  
⇒新規登録画面が表示されます。

Sales Force Assistant 顧客深耕R > メール/メールDMサーバー > 配信元認証

メール配信元として自社ドメイン（メールアドレスの@より右側の部分）を指定し、配信元として認証されると、共用メールアカウントにてメールアドレスが登録できる

**新規登録**

配信ドメイン  トラッキ

4. 配信ドメインにメールアドレスのドメイン「xxxxx.co.jp」を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

配信ドメイン

• 配信用のドメイン（メールアドレスの@より右側の部分）を指定してください。  
• 自社で保有するドメインを指定してください。  
• 認証されたドメインでメール配信ができます。

配信ドメイン:  ← メールアドレスの@より右側の部分を入力

**保存** **キャンセル**



5. 作成された認証用のレコードが画面に表示されます。

DNS へレコードを登録し、[認証] ボタンをクリックします。

**配信ドメイン**

- 配信用のドメイン（メールアドレスの@より右側の部分）を指定します。
- 自社で保有するドメインを指定してください。
- 認証されたドメインでメール配信ができます。

配信ドメイン： xxxxx.co.jp

状態	TYPE	HOST	VALUE
未認証	CNAME	em0000.xxxxx.co.jp	u00000000.wl000.sendgrid.net
未認証	CNAME	n0._domainkey.xxxxx.co.jp	n0.domainkey.u00000000.wl000.sendgrid.net
未認証	CNAME	n00._domainkey.xxxxx.co.jp	n00.domainkey.u00000000.wl000.sendgrid.net

未認証のレコードをDNSへ登録してから認証してください。

HOST および VALUE をクリックすると、値をコピーします。

**Point**

画面上部の [登録依頼 (DNS)] ボタンをクリックすると、未認証の TYPE、HOST、VALUE を転記したメール画面が開きます。システム管理者へレコード登録を依頼したい場合にご活用ください。

**補足**

ご利用の DNS サービスにて、CNAME のホスト名にアンダースコア(\_)が利用できない場合、弊社サポートデスクまでお問合せください。

※TXT 形式のレコードではアンダースコアを利用できる場合があるため再発行致します。

6. レコードが全て認証済になると「(設定完了)」が表示されます。

こちらで配信ドメインの認証は完了です。

配信ドメイン： xxxxx.co.jp

状態	TYPE	HOST
認証済	CNAME	em0000.xxxxx.co.jp
認証済	CNAME	n0._domainkey.xxxxx.co.jp
認証済	CNAME	n00._domainkey.xxxxx.co.jp

(設定完了)



補足

#### ■ Sender ID 認証

一部の携帯キャリア(au)にメール送信する必要があり、さらにメールの受けて側がなりすまし規制（高）を設定している場合、以下のさらなるセキュリティ（なりすまし）対策が求められます。この認証は必須ではありません。必要性を判断してご対応ください。

以下は既存の DNS レコードが存在する可能性が高く、DNS レコードの編集を誤ると、他のサービスにも影響を及ぼす恐れがあるため、設定については仕組みをご理解いただいた上で、慎重に行うようお願いいたします。また、DNS の登録は弊社のサポート範囲外になります。

（参考：au のなりすまし規制に対応する <https://sendgrid.kke.co.jp/blog/?p=10875>）

※DNS レコードの認証を追加します。

\*\*\*\*\*部分はシステム設定画面を参照して登録してください。

TYPE : TXT

HOST : \*\*\*\*\*.co.jp (配信ドメイン)

VALUE : SPF レコードの形式で登録

配信ドメインの VALUE で値が「u\*\*\*\*\*.wl\*\*\*.sendgrid.net」のものを、

次のように「include:u\*\*\*\*\*.wl\*\*\*.sendgrid.net」追記します。

例) "v=spf1 ip4:xx.xx.xx.xx include:u\*\*\*\*\*.wl\*\*\*.sendgrid.net -all"

## 1-2. トラッキング設定

1. トラッキング用ドメインを入力し、[登録] ボタンをクリックします。

**トラッキング設定**

- トラッキング（開封率、クリック率）を利用する場合、トラッキングURLのドメインを認証してください。
- トラッキングを利用するとメール文中のURLがトラッキングURLに書き換えられてメールが送信されます。
- メールを受信者がトラッキングURLからアクセスすると開封やクリックが記録されます。
- この設定を行わずにトラッキングを利用した場合、sendgrid.netのドメインでトラッキングURLが作成されます。

トラッキング用ドメイン: .xxxxx.co.jp

トラッキング用にしたいドメインを入力。例) link など

2. step1 として作成された認証用のレコードが画面に表示されます。  
DNS へレコードを登録し、[認証] ボタンをクリックします。

**トラッキング設定**

- トラッキング（開封率、クリック率）を利用する場合、トラッキングURLのドメインを認証してください。
- トラッキングを利用するとメール文中のURLがトラッキングURLに書き換えられてメールが送信されます。
- メールを受信者がトラッキングURLからアクセスすると開封やクリックが記録されます。
- この設定を行わずにトラッキングを利用した場合、sendgrid.netのドメインでトラッキングURLが作成されます。

トラッキング用ドメイン: link.xxxxx.co.jp

状態	TYPE	HOST	VALUE
未認証	CNAME	link.xxxxx.co.jp	sendgrid.net
未認証	CNAME	00000000.xxxxx.co.jp	sendgrid.net

未認証のレコードをDNSへ登録してから認証してください。

step 1 / 3

HOST および VALUE をクリックすると、値をコピーします。

3. 認証されると step2 に進みます。

DNS へ未認証のレコードを登録し、[認証] ボタンをクリックします。

状態	TYPE	HOST	VALUE
認証済	CNAME	link.xxxxx.co.jp	sendgrid.net
認証済	CNAME	00000000.xxxxx.co.jp	sendgrid.net
未認証	CNAME	_XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXX.link.xxxxx.co.jp.	_XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXXX.acm-validations.aws.
認証	step 2 / 3		

※DNS サービスにて CNAME の VALUE にアンダースコア ( \_ ) が利用できない場合、先頭のアンダースコアを 1 文字消して登録してください。HOST にアンダースコアが利用できない場合、トラッキング用ドメインは利用できません。

4. 認証されると step3 に進みます。

未認証のレコードは step1 で登録済みです。レコードを書き換えて登録し、[認証] ボタンをクリックします。

状態	TYPE	HOST	VALUE
認証済	CNAME	00000000.xxxxx.co.jp	sendgrid.net
認証済	CNAME	_XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXX.link.xxxxx.co.jp.	_XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXXX.acm-validations.aws.
未認証	CNAME	link.xxxxx.co.jp	XXXXXXXXXXXXXXXX.cloudfront.net
未認証のレコードは前のステップにて登録済みです。登録済みのレコードを書き換えてから認証してください。			
認証	step 3 / 3		

5. レコードが全て認証済になると「(設定完了)」が表示されます。

こちらでトラッキング設定は完了です。

状態	TYPE	HOST
認証済	CNAME	00000000.xxxxx.co.jp
認証済	CNAME	_XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXX.link.xxxxx.co.jp.
認証済	CNAME	link.xxxxx.co.jp
認証	(設定完了)	

## 2. 共有メールアドレスの登録

1. 配信元認証を設定後、配信元メールアドレス「maildm@xxxxx.co.jp」を共有メールアカウントに登録します。  
システム設定の **Sales Force Assistant** より「メール」の「共有メールアカウント」を選択します。  
⇒「メール/共有メールアカウント」画面が表示されます。
2. **新規登録** ボタンをクリックし、メニューから「Sprinkler 用アカウント」をクリックします。  
⇒新規登録画面が表示されます。

3. 共有メール ID、E-Mail アドレスを入力し、**保存** ボタンをクリックして内容を保存します。

項目名称	説明
共有メール ID	共有メールアカウント一覧で区別するために設定します。 半角英数字で入力してください。 ※#（半角シャープ記号）は利用できません。
E-Mail アドレス	配信元メールアドレス（例：maildm@xxxxx.co.jp）を入力します。 ※配信元認証の設定が完了しているドメインは入力欄の下に表示されます。 こちらに表示されているドメインのメールアドレスを登録できます。  ※Sprinkler 用アカウントは送信専用になります。 既存のメールアドレス（メール受信できるもの）を入力することをお勧めします。

## その他

### 【配信予約方法】

配信情報の配信サーバーに「Sprinkler」を選択時、設定した共用メールアドレスを配信アドレスに利用できます。  
(反映例)

配信情報 (新規登録)				
保存	保存してメール ▼	保存/リスト登録	プレビュー	予約語一覧
✕ 配信情報				
配信タイトル*	20XX/XXApproach DAM新機能紹介メール			
担当者*	営業部/営業1課 相川 弘			▼
イベント名	20XX/XX新機能のお知らせメール配信 / ホームページ			▼
進捗度	<input type="checkbox"/> 進捗度を更新する 進捗度を指定すると、配信時に引合情報が作成・更新されます。			
アプローチ情報作成	<input checked="" type="checkbox"/> 各配信先ごとに作成する			
配信コード	H-XXXXX			
✕ 配信予約				
配信日時			00:00 ▼	
配信間隔*	指定しない			
配信サーバー*	Sprinkler ▼			
配信アドレス*	maildm@xxxxx.co.jp ▼			
配信者名	“(株)NIコンサルティング ○○事務局”			

### 【Sprinkler オプション解約時の注意点】

解約前に Sprinkler オプションでの配信はすべて停止してください。

また、ステップメールや自動返信で設定している場合、別のメール DM サーバーに設定しなおしてください。

○ 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

○ 発行

2021年8月30日

第2版

株式会社 **NI**コンサルティング

サポートデスク

E-mail : [support@ni-consul.co.jp](mailto:support@ni-consul.co.jp) Fax : 082-511-2226

営業時間 : 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00 (当社休業日、土・日・祝日を除く)